

松江市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

松江市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例（平成 17 年松江市条例第 330 号）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の下線を付した部分は、これに対応する改正後欄に掲げる規定の下線を付した部分のように改め、改正後欄に掲げる規定で改正前欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを加える。

改正後		改正前	
別表第 1(第 2 条関係)		別表第 1(第 2 条関係)	
名称	区域	名称	区域
母衣町中央地区地区計画	<u>平成 30 年松江市告示第 183 号</u> に定める松江圏都市計画母衣町中央地区地区計画の区域	母衣町中央地区地区計画	<u>平成 3 年松江市告示第 13 号</u> に定める松江圏都市計画母衣町中央地区地区計画の区域
湖南テクノパーク地区計画	<u>平成 29 年松江市告示第 432 号</u> に定める松江圏都市計画湖南テクノパーク地区計画の区域	湖南テクノパーク地区計画	<u>平成 18 年松江市告示第 8 号</u> に定める松江圏都市計画湖南テクノパーク地区計画の区域
クレアヒル松江地区計画	<u>令和 3 年松江市告示第 524 号</u> に定める松江圏都市計画クレアヒル松江地区計画の区域	クレアヒル松江地区計画	<u>平成 18 年松江市告示第 244 号</u> に定める松江圏都市計画クレアヒル松江地区計画の区域
略		略	
田和山地区計画	<u>平成 22 年松江市告示第 347 号</u> に定める松江圏都市計画田和山地区計画の区域	田和山地区計画	<u>平成 15 年松江市告示第 184 号</u> に定める松江圏都市計画田和山地区計画の区域
略		略	
玉造上地区地区計画	<u>平成 5 年玉湯町告示第 11 号</u> に定める松江圏都市計画玉造上地区地区計画	玉造上地区地区計画	<u>平成 3 年玉湯町告示第 4 号</u> に定める松江圏都市計画玉造上地区地区計画
略		略	
大手前通り地区計画	<u>平成 30 年松江市告示第 186 号</u> に定める松江圏都市計画大手前通り地区計画の区域	大手前通り地区計画	<u>平成 19 年松江市告示第 28 号</u> に定める松江圏都市計画大手前通り地区計画の区域

略		略	
乃白北地区計画	平成 30 年松江市告示第 187 号に定める松江圏都市計画乃白北地区計画の区域	乃白北地区計画	平成 22 年松江市告示第 371 号に定める松江圏都市計画乃白北地区計画の区域
出雲郷東灘・揖屋町西新西地区地区計画	平成 30 年松江市告示第 184 号に定める松江圏都市計画出雲郷東灘・揖屋町西新西地区地区計画の区域	出雲郷東灘・揖屋町西新西地区地区計画	平成 9 年東出雲町告示第 20 号に定める松江圏都市計画出雲郷東灘・揖屋町西新西地区地区計画の区域
出雲郷南地区地区計画	平成 30 年松江市告示第 185 号に定める松江圏都市計画出雲郷南地区地区計画の区域	出雲郷南地区地区計画	平成 14 年東出雲町告示第 41 号に定める松江圏都市計画出雲郷南地区地区計画の区域
東出雲工業団地地区地区計画	平成 22 年東出雲町告示第 81 号に定める松江圏都市計画東出雲工業団地地区地区計画の区域	東出雲工業団地地区地区計画	平成 15 年東出雲町告示第 81 号に定める松江圏都市計画東出雲工業団地地区地区計画の区域
略		略	
春日地区地区計画	平成 24 年松江市告示第 74 号に定める松江圏都市計画春日地区地区計画の区域	春日地区地区計画	平成 19 年東出雲町告示第 50 号に定める松江圏都市計画春日地区地区計画の区域
略		略	
法吉二反田地区計画	令和 7 年松江市告示第 195 号に定める松江圏都市計画法吉二反田地区計画の区域		
大庭向山地区計画	令和 7 年松江市告示第 196 号に定める松江圏都市計画大庭向山地区計画の区域		
東津田工業団地地区計画	令和 7 年松江市告示第 197 号に定める松江圏都市計画東津田工業団地地区計画の区域		
別表第 2(第 3 条、第 4 条関係)		別表第 2(第 3 条、第 4 条関係)	
(あ)	(い)	(う)	
地区の名	街区の区	地区の名	街区の区

称	分			称	分		
略				略			
クレアヒル松江地区計画区域	流通卸売業務ゾーン	略	建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から敷地境界線までの距離は1.5メートル以上とする。ただし、道路境界に沿って法面がある時は、法肩から1.5メートル以上の距離とする。	クレアヒル松江地区計画区域	流通卸売業務ゾーン	略	建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から敷地境界線までの距離は1.5m以上とする。ただし、道路境界に沿って法面がある時は、法肩から 1.5m 以上の距離とする。
	産業ゾーン	略	建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から敷地境界線までの距離は1.5メートル以上とする。ただし、道路境界に沿って法面がある時は、法肩から1.5メートル以上の		産業ゾーン	略	建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から敷地境界線までの距離は1.5m以上とする。ただし、道路境界に沿って法面がある時は、法肩から 1.5m 以上の

		距離とする。			距離とする。
スポーツ 振興ゾー ン	略	建築物の外 壁又はこれ に代わる柱 の面から敷 地境界線ま での距離は 1.5 <u>メートル</u> 以上とする。 ただし、道路 境界に沿っ て法面があ る時は、法肩 から1.5 <u>メー トル</u> 以上の 距離とする。	スポーツ 振興ゾー ン	略	建築物の外 壁又はこれ に代わる柱 の面から敷 地境界線ま での距離は 1.5 <u>m</u> 以上とする。 ただし、道路 境界に沿っ て法面があ る時は、法肩 から 1.5 <u>m</u> ____以上の 距離とする。
公共施設 ゾーン	略	建築物の外 壁又はこれ に代わる柱 の面から敷 地境界線ま での距離は 1.5 <u>メートル</u> 以上とする。 ただし、道路 境界に沿っ て法面があ る時は、法肩 から1.5 <u>メー トル</u> 以上の 距離とする。	公共施設 ゾーン	略	建築物の外 壁又はこれ に代わる柱 の面から敷 地境界線ま での距離は 1.5 <u>m</u> 以上とする。 ただし、道路 境界に沿っ て法面があ る時は、法肩 から 1.5 <u>m</u> ____以上の 距離とする。

田和山地 区計画区 域	商業施設 地区	略	建築物の外 壁又はこれ	田和山地 区計画区 域	商業施設 地区	略	建築物の外 壁又はこれ
	複合施設 地区	略	に代わる柱 の面から次		複合施設 地区	略	に代わる柱 の面から次
	教育施設 地区		に掲げる道 路境界線ま での距離は 1.0メートル 以上とする。 ただし、道路 境界線に沿 って法面が ある時は、法 肩から1.0メ ートル以上 の距離とす る。 (1) 都市計 画道路 3. 2.2 出雲郷 松江線 (2) 法第 42 条第 1 項第 4 号道路浜 乃木乃木 福富区画 中央線		教育施設 地区		に掲げる道 路境界線ま での距離は 1.0m 以上とする。 ただし、道路 境界線に沿 って法面が ある時は、法 肩から 1.0m 以上 の距離とす る。 (1) 都市計 画道路 3. 2.2 出雲郷 松江線 (2) 法第 42 条第 1 項第 4 号道路浜 乃木乃木 福富区画 中央線
略				略			
立丁東地 区計画区 域		略	建築物の外 壁若しくは これに代わ	立丁東地 区計画区 域		略	建築物の外 壁若しくは これに代わ

			る柱又は高さ2.0メートル以上の門若しくは塀の面から道路境界線までの距離は1.0メートル以上とする。				る柱又は高さ 2.0m 以上の門若しくは塀の面から道路境界線までの距離は1.0m 以上とする。
乃白田和地区計画区域	医療・健康福祉ゾーン	略	建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から道路境界線までの距離は1.0メートル以上とする。	乃白田和地区計画区域	医療・健康福祉ゾーン	略	建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から道路境界線までの距離は1.0m 以上とする。
	複合ゾーン(A)	略	建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から道路境界線までの距離は1.0メートル以上とする。		複合ゾーン(A)	略	建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から道路境界線までの距離は1.0m 以上とする。
	複合ゾーン(B)	略	建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から道路境界線までの距離は		複合ゾーン(B)	略	建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から道路境界線までの距離は

			1.0メートル 以上とする。				1.0m 以上とする。
大庭向山 地区計画 区域	住宅地ゾ ーン	次に掲げる 建築物以外 のもの 法別表第2 (は)項に掲 げるもの(店 舗、飲食店 その他これ ら沿って法 面に類する 施設がある とき 行令第130 条の5の3 で定めるも その用途に 供する部分 の床面積の 合計が150 平方メートル を超えるも のを除く。)	建築物の外 壁又はこれ に代わる柱 の面から道 路境界線ま での距離(道 路境界線に 面する部分 の距離)は1. 0メートル以 上とする。た だし、上記の 規定は、次の 各号のいずれ かに該当す る建築物又 は建築物の 部分につ いては適用 しない。 (1) 床面積 に算入され ない出窓 (2) 車庫、 屋外物置 その他こ				

		<u>れらに類</u> <u>する用途</u> <u>に供し、独</u> <u>立棟の軒</u> <u>の高さが</u> <u>3.0メート</u> <u>ル以下で</u> <u>あり、か</u> <u>つ、床面積</u> <u>が30平方</u> <u>メートル</u> <u>以下であ</u> <u>るもの</u>
業務地ゾ	次に掲げる	建築物の外
ーン	建築物	壁又はこれ
	(1) 法別表	に代わる柱
	第2(へ)項	の面から道
	に掲げる	路境界線ま
	もの	での距離(道
	(2) ホテル	路境界線に
	又は旅館	沿って法面
	(3) ボーリ	があるとき
	ング場、ス	は、法肩から
	ケート場、	の距離)は1.
	水泳場そ	0メートル以
	の他これ	上とする。
	らに類す	
	る施行令	
	第130条の	
	6の2で定	
	める運動	
	施設	

(4) カラオ
ケボックス
その他
これに類
するもの

(5) マージ
ャン屋、ぱ
ちんこ屋、
射的場、勝
馬投票券
発売所、場
外車券売
場その他
これらに
類するも
の

(6) 公衆浴
場

(7) 自動車
教習所

(8) 畜舎

(9) 危険性
や環境を
悪化させ
るおそれ
がある工
場(法別表
第2(と)項
第3号に掲
げる事業
(出力等除
外条件が

		あるもの にあって はその除 外条件を 除く。)を 営む工場)	
東津田工業団地 区計画区域	事業ゾーン	次に掲げる建築物(専ら従業員の福利厚生施設等の用に供する建築物(居住の用に供するものを除く。)) (1) 法別表第2(わ)項に掲げるもの (2) カラオケボックスその他これに類するもの (3) 神社、寺院、教会その他これらに類するもの (4) 公衆浴	建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から敷地境界線までの距離(道路境界線に沿って法面があるときは、法肩からの距離)は1.0メートル以上とする。

		場	
		(5) 診療所	
		(6) 保育所	
		(7) 老人福祉センター、児童厚生施設その他これらに類するもの	
		(8) 自動車教習所	
福祉ゾーン	保育所・児童厚生施設その他これらに類するもの以外のもの	建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から敷地境界線までの距離(道路境界線に沿って法面があるときは、法肩からの距離)は1.0メートル以上とする。	
駐車場ゾーン	全ての建築物		

別表第3(第3条—第5条関係)

(あ)	(い)	(う)	(え)
略			
法吉住	宅次	に掲げる建築物の	建築物の

別表第3(第3条—第5条関係)

(あ)	(い)	(う)	(え)
略			

二反	地	建築物以外	外壁又は	高さの最
田	一	のもの	これに代	高限度 10.
区		(1) 住宅	わる柱の	0メートル
画		(2) 住宅	面から道	以下
域		で事務	路境界線	
		所、店舗	までの距	
		その他こ	離(道路境	
		れらに類	界線に沿	
		する用途	って法面	
		を兼ねる	があると	
		もののう	きは、法肩	
		ち施行令	からの距	
		第 130 条	離)は 1.0	
		の 3 に定	メートル	
		めるもの	以上とす	
		(3) 共同	る。ただ	
		住宅	し、上記の	
		(4) 前各	規定は、次	
		号の建築	の各号の	
		物に附属	いずれか	
		する車	に該当す	
		庫、屋外	る建築物	
		物置など	又は建築	
複	合	次に掲げる	物の部分	
地	ゾ	建築物以外	について	
一		のもの	は適用し	
		(1) 法別	ない。	
		表 第 2	(1) 床面	
		(い)項に	積に算	
		掲げるも	入され	
		の	ない出	

	(2) 店舗、窓 飲食店その他これらに類する施行令第130条の5の2で定めるものでその用途に供する部分の床面積の合計が250平方メートル以内のもの(3階以上の部分をその用途に供するものを除く。) (3) 前号の建築物に附属する車庫、屋外物置など	(2) 車庫、屋外物置その他これらに類する用途に供し、独立棟の軒の高さが3.0メートル以下であり、かつ、床面積が30平方メートル以下であるものの	
--	---	---	--

附 則

この条例は、公布の日から施行する。